

## 熊本県内における献血の現状について



2018.09.26  
ライオンズクラブ国際協会  
337-E地区 三献研修会

## 献血はなぜ必要？



資料No.1

- ①技術が発達した今も血液は人工的に作れない
- ②輸血を受けている患者さんは日本国内で一日約3千人  
⇒県内では毎日約200人の献血協力が必要です。
- ③血液は生きている細胞なので、**長期保存ができない**  
⇒ 赤血球製剤 21日間  
血漿製剤 1年間（凍結保存）  
血小板製剤 4日間

**献血は、一時期に偏ることなく継続的な協力が必要です。**

## 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律

「採血及び供血あっせん業取締法（昭和31年）」が、新血液法「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（平成15年施行）」に改正され、国・地方公共団体・採血事業者等の責務が定められた。

### 【国の責務】

第四条 国は、基本理念にのっとり、血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保に関する基本的かつ総合的な施策を策定し、及び実施しなければならない。  
2 国は、血液製剤に関し国内自給が確保されることとなるように、献血に関する国民の理解及び協力を得るための教育及び啓発、血液製剤の適正な使用の推進に関する施策の策定及び実施その他の必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

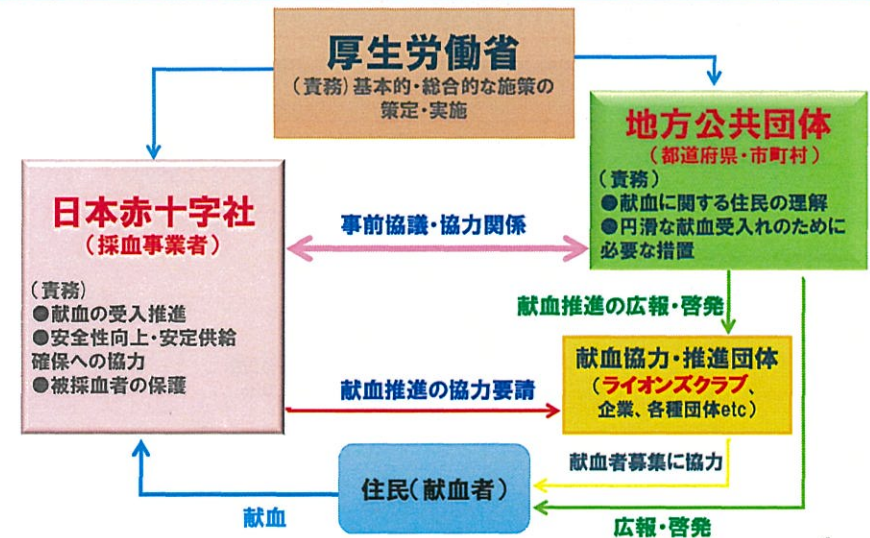
### 【地方公共団体の責務】

第五条 都道府県及び市町村（特別区を含む。以下同じ。）は、基本理念にのっとり、献血について住民の理解を深めるとともに、採血事業者による献血の受入れが円滑に実施されるよう、必要な措置を講じなければならない。

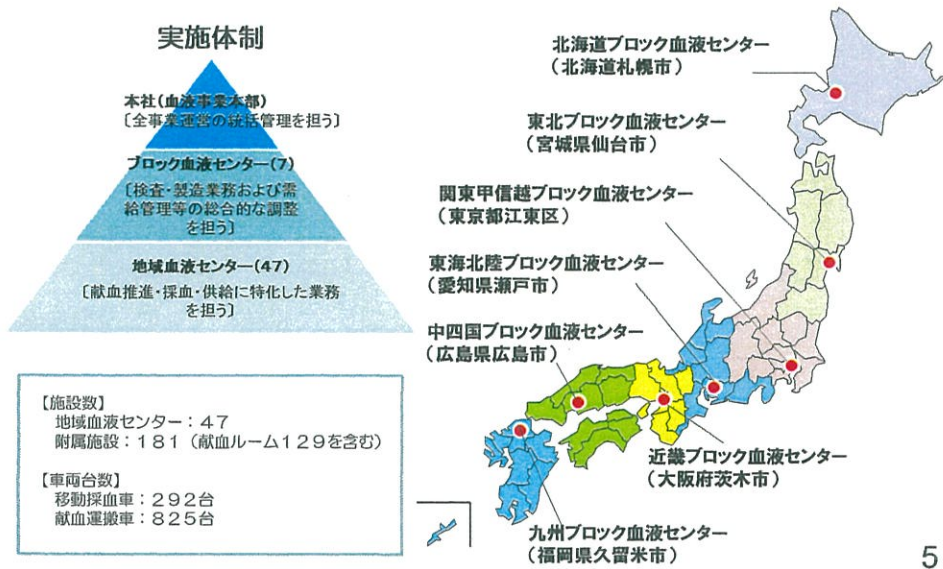
### 【採血事業者の責務】

第六条 採血事業者は、基本理念にのっとり、献血の受入れを推進し、血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保に協力するとともに、献血者等の保護に努めなければならない。

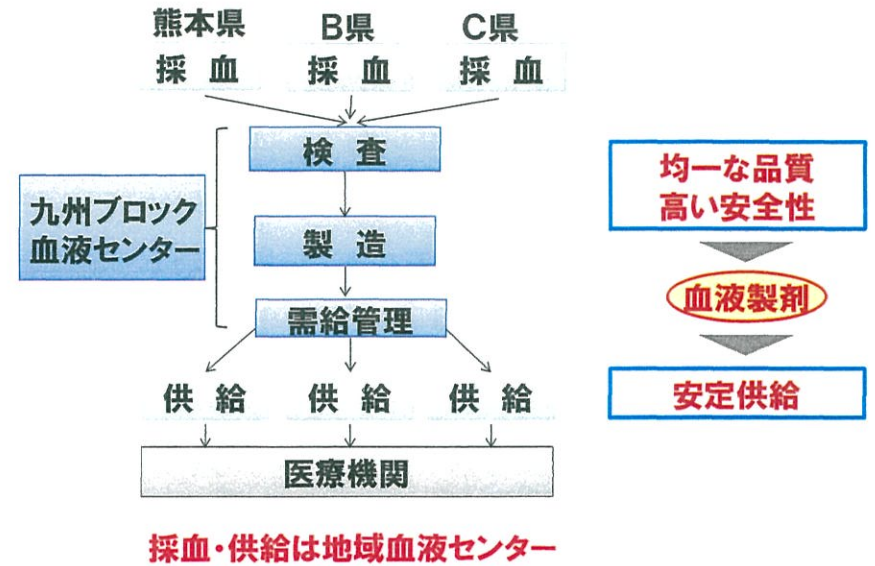
## 日本の血液事業の実施体制



## 日本赤十字社の事業運営の実施体制



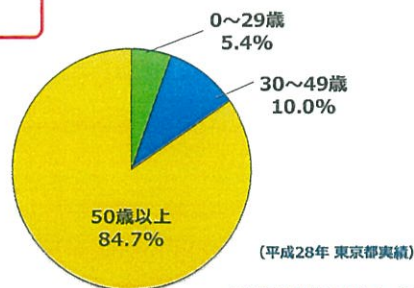
## 血液センターの業務体制



### 熊本県内の年代別献血者数（平成29年度）

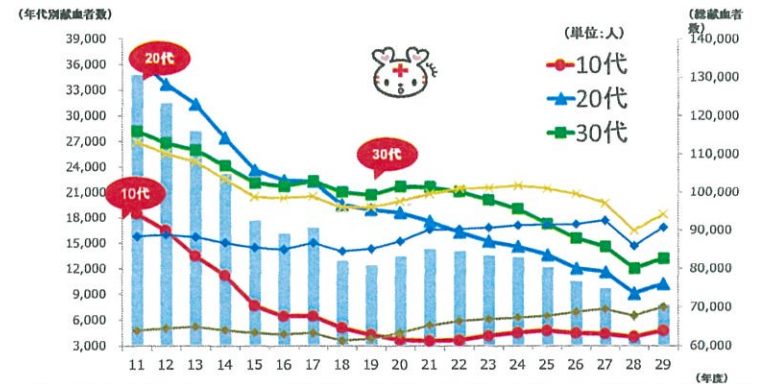
70,344人					
16-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳
4,727人 6.7%	10,098人 14.4%	13,068人 18.6%	18,334人 26.1%	16,728人 23.8%	7,389人 10.5%

### 輸血状況



※端数処理をしているため、合計が必ずしも100%にならない。

### 県内の年代別献血者数の推移



※H29-H11

[10代] △13,674人 (74%減)	[20代] △26,611人 (72%減)	[30代] △14,995人 (53%減)
[40代] △8,506人 (32%減)	[50代] 1,062人 (7%増)	[60代] 2,751人 (59%増)



## 今後の献血者の確保に向けて

### 1. 高校献血の継続・さらなる推進

これまでどおり「献血セミナー」の開催や「高校献血」の実施を、未実施高校に対して積極的に働きかける。

### 2. 企業・団体等に対する献血推進対策

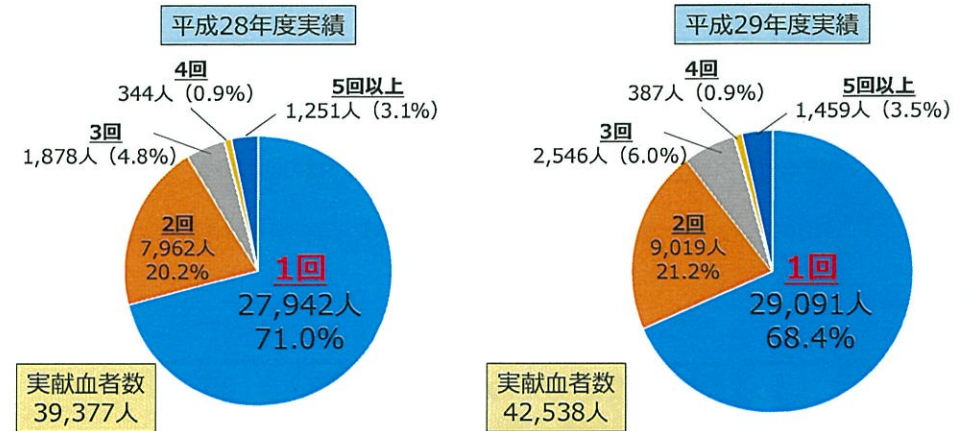
#### ①企業等での献血セミナー開催

企業の献血担当者様だけでなく、多くの社員の皆様に献血を知っていただくために、朝礼や会議の場をお借りして5分から10分程度の簡単な「献血セミナー」を行う。  
(特に20代・30代の若年層を対象)

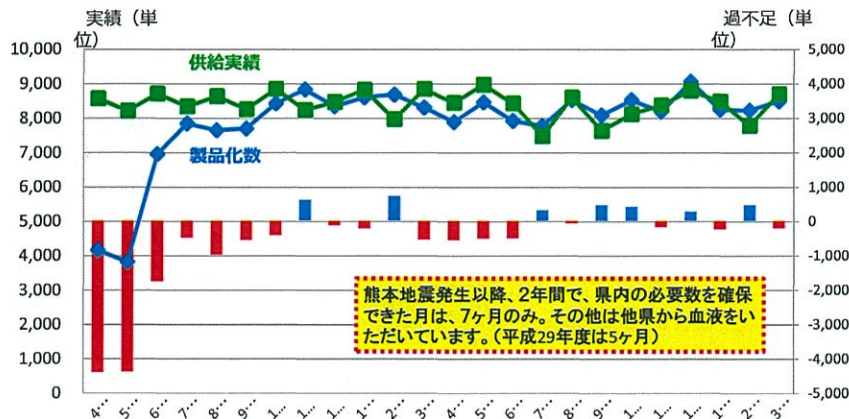
#### ②企業トップへの働きかけ

20代・30代の若年層の方々が、勤務時間内であっても献血に協力しやすい環境を作っていただくため、企業上層部の役職者の方に対して、県内の献血状況や現状を理解していただく機会を設け、協力をお願いする。(トップダウン方式での献血協力)

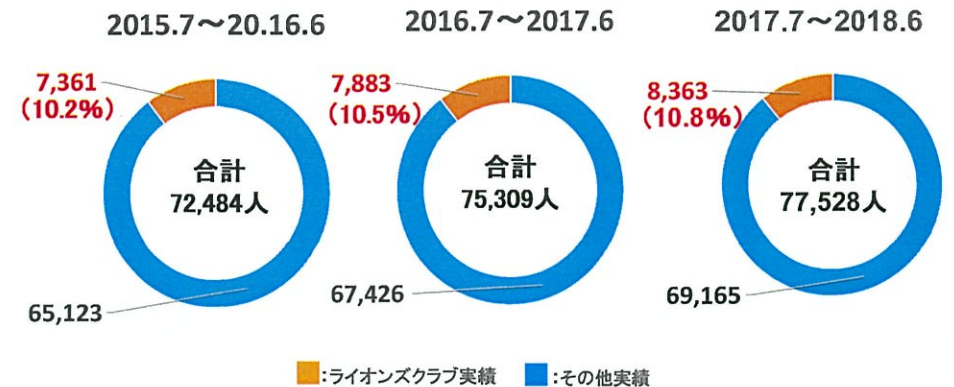
## 県内の複数回献血者数



## 県内における赤血球需給バランス (平成28年4月～平成30年3月)



## 337-E地区における献血実績の推移



※ 総献血者数は、ライオンズクラブ年度(7月～翌年6月)で算出

## 今後の献血者の確保に向けて

### 1. 高校献血の継続・さらなる推進

これまでどおり「献血セミナー」の開催や「高校献血」の実施を、未実施高校に対して積極的に働きかける。

### 2. 企業・団体等に対する献血推進対策

#### ①企業等での献血セミナー開催

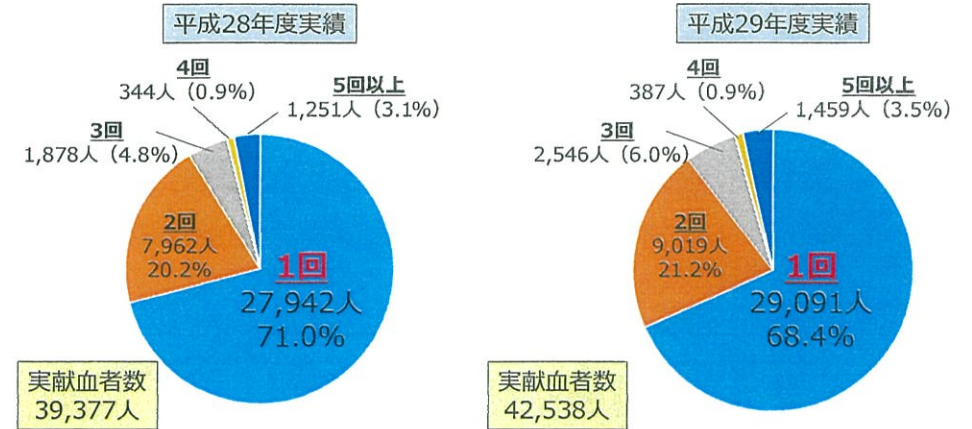
企業の献血担当者様だけでなく、多くの社員の皆様に献血を知っていただくために、朝礼や会議の場をお借りして5分から10分程度の簡単な「献血セミナー」を行う。  
(特に20代・30代の若年層を対象)

#### ②企業トップへの働きかけ

20代・30代の若年層の方々が、勤務時間内であっても献血に協力しやすい環境を作っていただくため、企業上層部の役職者の方に対して、県内の献血状況や現状を理解していただく機会を設け、協力をお願いする。(トップダウン方式での献血協力)

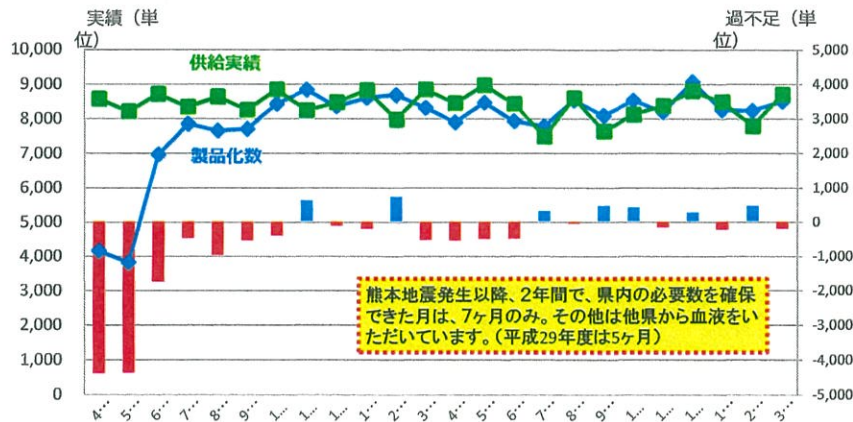
13

## 県内の複数回献血者数

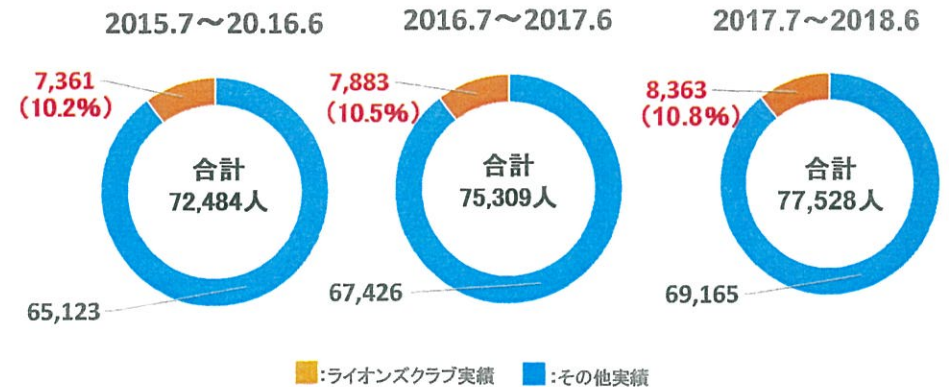


14

県内における赤血球需給バランス (平成28年4月～平成30年3月)



## 337-E地区における献血実績の推移



※ 総献血者数は、ライオンズクラブ年度(7月～翌年6月)で算出



## 337-E地区献血実績(2017.7~2018.6)

(1Z)			(4Z)			(7Z)			(10Z)		
クラブ名	H30.7月~ H30.9月	H28.7月~ H30.6月	クラブ名	H30.7月~ H30.9月	H28.7月~ H30.6月	クラブ名	H30.7月~ H30.9月	H28.7月~ H30.6月	クラブ名	H30.7月~ H30.9月	H28.7月~ H30.6月
1 熊本	0	18	1 菊池	42	276	1 水俣	29	136	1 矢部	62	104
2 熊本サンライズ	0	13	2 榎木	83	244	2 人吉	0	165	2 甲佐	0	154
3 熊本白門	0	6	3 山鹿	0	473	3 芦北	0	127	3 御船	0	43
4 熊本寛豊城	0	232	4 合志	0	108	4 免田	0	112	4 砥用	0	107
5 熊本平成	0	23	小計	125	1,101	5 錦	0	110	5 中央	34	115
6 肥後熊友	115	15				小計	29	650	小計	96	523
7 熊本多士	0	0									
小計	115	307									
(2Z)			(5Z)			(8Z)			(11Z)		
クラブ名	H30.7月~ H30.9月	H28.7月~ H30.6月	クラブ名	H30.7月~ H30.9月	H28.7月~ H30.6月	クラブ名	H30.7月~ H30.9月	H28.7月~ H30.6月	クラブ名	H30.7月~ H30.9月	H28.7月~ H30.6月
1 熊本第一	0	75	1 阿蘇	0	60	1 八代	0	21	1 熊本マグナ	107	305
2 熊本りんどう	0	183	2 高森	176	603	2 八代球磨川	0	76	2 熊本龍峰	0	60
3 熊本火の国	0	46	3 熊本大津	0	85	3 八代氷川	0	41	3 熊本南	0	19
4 熊本金峰	39	82	4 阿蘇一の宮	18	30	4 肥後小川	0	40	4 熊本城北	0	6
5 熊本リパティ	1	126	5 阿蘇小国郷	0	176	5 松橋	0	20	5 熊本英	0	326
6 肥後黎明	0	7	小計	194	954	小計	0	198	小計	107	716
小計	40	519									
(3Z)			(6Z)			(9Z)			合計		
クラブ名	H30.7月~ H30.9月	H28.7月~ H30.6月	クラブ名	H30.7月~ H30.9月	H28.7月~ H30.6月	クラブ名	H30.7月~ H30.9月	H28.7月~ H30.6月	H30.7月~ H30.9月	H28.7月~ H30.6月	H28.7月~ H30.6月
1 荒尾	27	282	1 熊本中央	0	137	1 宇土	0	113	879	793	※8,363
2 玉名	0	385	2 熊本キャッスル	0	35	2 バールライン	0	219			
3 長洲有明	21	175	3 熊本東	0	38	3 天草本渡	48	137			
小計	48	842	4 熊本菊南	0	32	4 牛深	0	74			
			5 熊本城東	1	38	5 城南	58	93			
			6 肥後東	18	1,078	小計	106	636			
			小計	19	1,358						

ご清聴ありがとうございました

